

Ⅶ 指導計画の評価と改善

年間指導計画の評価を行うことで、キャリア教育の一層の推進を図ることができます。

キャリア教育の目標の達成を目指した指導計画が、効果的な働きをしているのかを適切に評価し、その改善を図ることが必要です。

年度初

全教員による全体計画の確認
学年団、教科部会による年間指導計画の確認
教員による具体的な学習指導案の作成
年間を通じた評価計画、評価方法の確認

取組後

児童の学習状況の把握
（アンケート、自己評価、相互評価などを活用した定量的な評価と、観察や面接・面談などの印象に基づく定性的な評価）
教員の自己評価（配当時間、学習内容等）
→必要に応じて、年間指導計画の見直し

年度末

次年度の全体計画、年間指導計画の作成

- ・ねらい、実施時期は適切であるか。
- ・体系的・系統的であるか。
- ・異校種や地域社会との連携は十分であるか。

12月まで

保護者によるアンケート調査、学校評議員の意見等〔参考5ページ〕
教員による評価
（児童の評価、学校の推進状況の評価）

年間を通じたPDCAサイクルの実現により、継続的かつ充実した、学校独自のキャリア教育を創りだすことができます。

〔参考文献〕

小学校キャリア教育の手引き<改訂版>（平成23年5月 文部科学省）
キャリア教育を創る「学校の特色を生かして実践するキャリア教育」
（平成23年11月 国立教育政策研究所）
キャリア教育をデザインする「今ある教育活動を生かしたキャリア教育」
（平成24年8月 国立教育政策研究所）